



災害に強いまちづくりの推進

河川の
改修



改修前



改修後

「災害に強いまち」に向け、対策を推進

大牟田市では、令和2年7月に観測史上最大となる豪雨により大規模な災害が発生しました。

市内家屋2,320戸に及ぶ浸水被害をはじめ、山腹崩壊による土砂災害や道路寸断、橋梁損壊など、市民生活に深刻な影響を及ぼしました。

このような豪雨災害からの被害を軽減するため、災害に強いまちづくりを進めています。

ポンプ場
新設



ハード対策

- ・河川・水路の改修
- ・雨水ポンプ場の建設
- ・雨水幹線の整備
- ・ため池やグラウンドを活用した貯留浸透施設の整備

ソフト対策

- ・災害対策本部機能の強化
- ・救急・救助能力の増強
- ・避難所の充実
- ・地域防災活動と啓発

▶ 地域防災力の向上

寄付金の
使い道

施設整備や改修等のハード対策、防災力を高めるためのソフト対策に要する費用